

## 第 5 回小田原保健医療学部同窓会理学療法部門大会開催報告

2021年11月6日（土）、対面とオンラインの同時開催にて第5回小田原保健医療学部同窓会理学療法部門大会が開催されました。本大会は2016年度から開催し、昨年は奇しくも新型コロナウイルスの影響で中止となってしまいましたが、今年は大会長に国際医療福祉大学小田原保健医療学部1期生の豊田大輔を迎え、5回目の開催を行うことができました。

小田原校の卒業生の経験年数も高くなり、地域で活躍する理学療法士が増えてきました。今年度は「みんなで創る同窓会」を目指して同窓生に事前アンケートを取り、最も多かった意見である地域に焦点を当て、大会テーマを「地域リハビリテーションの現状及び今後の展望」と致しました。

基調講演Ⅰとして小田原校初代看護学科長、現一般社団法人日本在宅ケア教育研究センターセンター長の島内節先生に「訪問看護の視点から見た訪問リハビリテーションのニーズについて」というタイトルで看護の視点とリハビリテーションの立場からわかりやすくご講演いただきました。

基調講演Ⅱとして公益社団法人日本理学療法士協会常務理事の森本榮先生に「地域リハビリテーションに求められる理学療法士の役割について」というタイトルで現在理学療法士に必要な地域で求められている役割を丁寧にご講演いただきました。

シンポジウムは「地域リハビリテーションの現状及び今後の展望」と題し、4名の先生方にご登壇いただき情報提供をしていただきました。学部生の参加も多かったため、これから地域リハビリテーションに関わる上で大切なことを教えていただきました。

小田原保健医療学部同窓会理学療法部門大会としての活動は今年度を最後とし、次年度からは関東支部会として活動をしていきます。今後も国際医療福祉大学および理学療法士の発展に尽力していきたいと思っております。今までありがとうございました。今後とも同窓生の皆様とともに活動を続けていきたいと考えておりますため、一層のお力添えをお願い申し上げます。



基調講演中の島内先生と黒澤学部長



シンポジウムを聴講する学部生



国際医療福祉大学同窓会  
マロニエ会

